

## 【ロシア】 2012 -2014 年度連邦予算法の概要

海外立法情報課・小泉 悠

\* 2012-2014 年度のロシア連邦予算は依然として赤字であるものの、赤字額の縮小を見込んでいる。また、多くの項目に対する歳出が頭打ち又は純減となり、緊縮予算が続いているが、軍や治安機関向けの予算は大幅に増額される見込みである。

-----  
予算の概要

2011 年 11 月 30 日、2011 年度連邦法第 371 号「2012 年度及び 2013-2014 年度の計画期間におけるロシア連邦予算に関する連邦法」（以下、「予算法」という）が成立した。2008 年以降、ロシアの国家予算は 3 か年計画へと移行し、翌年度だけでなく、それに続く 2 年間の予算が同時に策定されるようになった。ただし、この 2 年間は「計画期間」であり、翌年度には経済実績を元に修正されて再び新たな 3 か年予算が策定される。今回の予算法の原案は 7 月に財務省が下院に提出したものであるが、審議の末、11 月 22 日の下院第 3 読会を通過し、11 月 25 日に上院、11 月 30 日には大統領の承認を受けた。予算の概要は表-1 のとおりである。

表-1 2012-2014 年の連邦予算概要

	2011年(※)	予算法における規定		
		2012年	2013年	2014年
歳入	約11兆ルーブル	11兆7798億	12兆7058億	14兆918億
歳出	約11兆ルーブル	12兆6564億	13兆7306億	14兆5829億
収支(赤字額)	±0	-8766億	-1兆247億	-4911億
赤字の対GDP比	±0	1.5%	1.6%	0.7%

(単位:ルーブル)

出典：Федеральный закон от 30.11.2011 №371-ФЗ «Федеральный закон о федеральном бюджете на 2012 год и на плановый период 2013 и 2014 год»

※2011 年の経済運営実績を基にした財務省の推定値

ロシア政府の歳入は 2009 年の金融危機後に大きく落ち込んだ。危機前の 2008 年度には、歳入が 9 兆 2759 億ルーブル、歳出が 7 兆 5709 億ルーブルと大幅な黒字であったが、2010 年度は歳入が約 6 兆 7500 億ルーブルに対して歳出は 9 兆 8860 億ルーブルに上った。しかし、2011 年度予算では、約 10 兆 3000 億ルーブルの歳入に対して歳出は約 11 兆 2200 億円と、赤字は大幅に削減された。さらに 2011 年 11 月の財務省発表によれば、原油高によって GDP 成長率が予想を上回ったため、最終的にはわずかながら黒字となる可能性が高いと見られている。2012 年度以降の予算については、今後 3 年間の GDP 成長率が毎年 3.7-4.6%と比較的堅調に推移すると見込まれることから、歳入・歳出とも年々増額される予定である。各年度とも赤字予算ではあるが、2014 年度には赤字額を約 5000 億ルーブル（対 GDP 比 0.7%）まで削減するとしている。

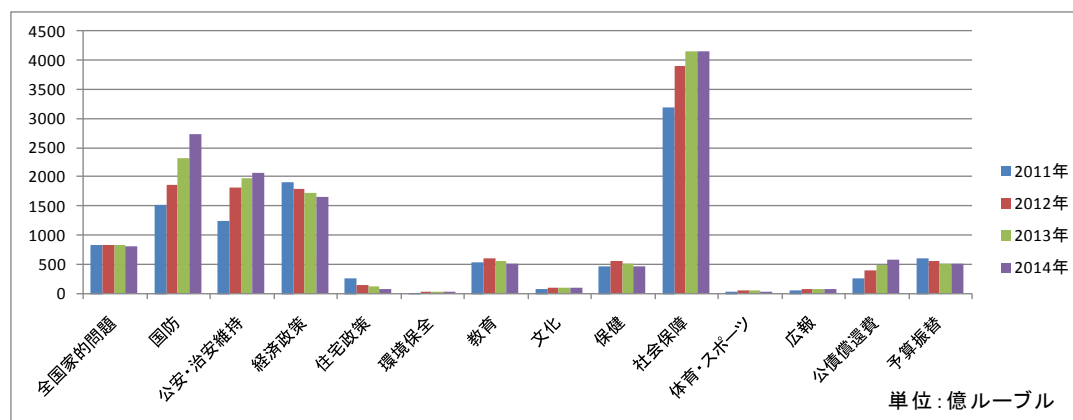
また、これまでは赤字補填のために「準備基金」（原油価格下落に備えて石油収入の

一部を積み立てた基金)を取り崩してきたが、2012年度以降は取崩しをやめ、積立てを再開する。準備基金の残高は2009年初頭には4兆1177億ルーブルに達していたが、2011年初頭の時点では7752億ルーブルまで減少していた。今後は、2012年度に2兆2200億ルーブル、2013年度に2兆8100億ルーブル、2014年度に3兆9500億ルーブルまで積立て額を回復させるとしている。さらに現在は歳入の約半分を占めている石油・天然ガス収入への依存度を低下させ、2014年には43.5%とする計画である。

### 2012-2014年度予算の内訳

予算法には正確な分野別歳出内訳の記載がない。財務省の法案注解によると、社会保障予算が最大の歳出項目であることは従来どおりであるが、これまで第2位であった経済政策予算が段階的に減額され、国防及び公安・治安維持関連予算が2位と3位になった。今後は、予算総額そのものは増額されていくものの、全国家的問題(大統領・議会・議員の活動費、裁判制度の維持費用、税務・税関監督費用等)、経済政策、住宅政策、教育、保健など多くの項目については横這いないし純減であり、緊縮財政は依然として継続している。その一方、社会保障、国防、公安・治安維持関係予算については増加傾向にある。今後の推移予測については、社会保障予算及び公安・治安維持関係予算の伸び率が2013-2014年には鈍化するのに対し、国防予算は2014年まで高い伸び率を維持する見込みである。また、国防及び公安・治安維持関係予算が全国家予算中に占める割合は、現在は約25%であるが、2014年には35%まで増加する。

表-2 2011-2014年の項目別支出の推移



出典：Расходы федерального бюджета по разделам и подразделам, <[http://info.minfin.ru/project\\_fb\\_budget\\_rash.php](http://info.minfin.ru/project_fb_budget_rash.php)>

参考文献(インターネット情報は2011年12月16日現在である。)

- ・ Федеральный закон от 30.11.2011 №371-ФЗ «Федеральный закон о федеральном бюджете на 2012 год и на плановый период 2013 и 2014 год»(連邦法第371号「2012年度及び2013-2014年の計画期間におけるロシア連邦予算に関する連邦法」)  
<[http://www1.minfin.ru/common/img/uploaded/library/2011/12/371-FZ\(budget%202012-2014\).pdf](http://www1.minfin.ru/common/img/uploaded/library/2011/12/371-FZ(budget%202012-2014).pdf)>